

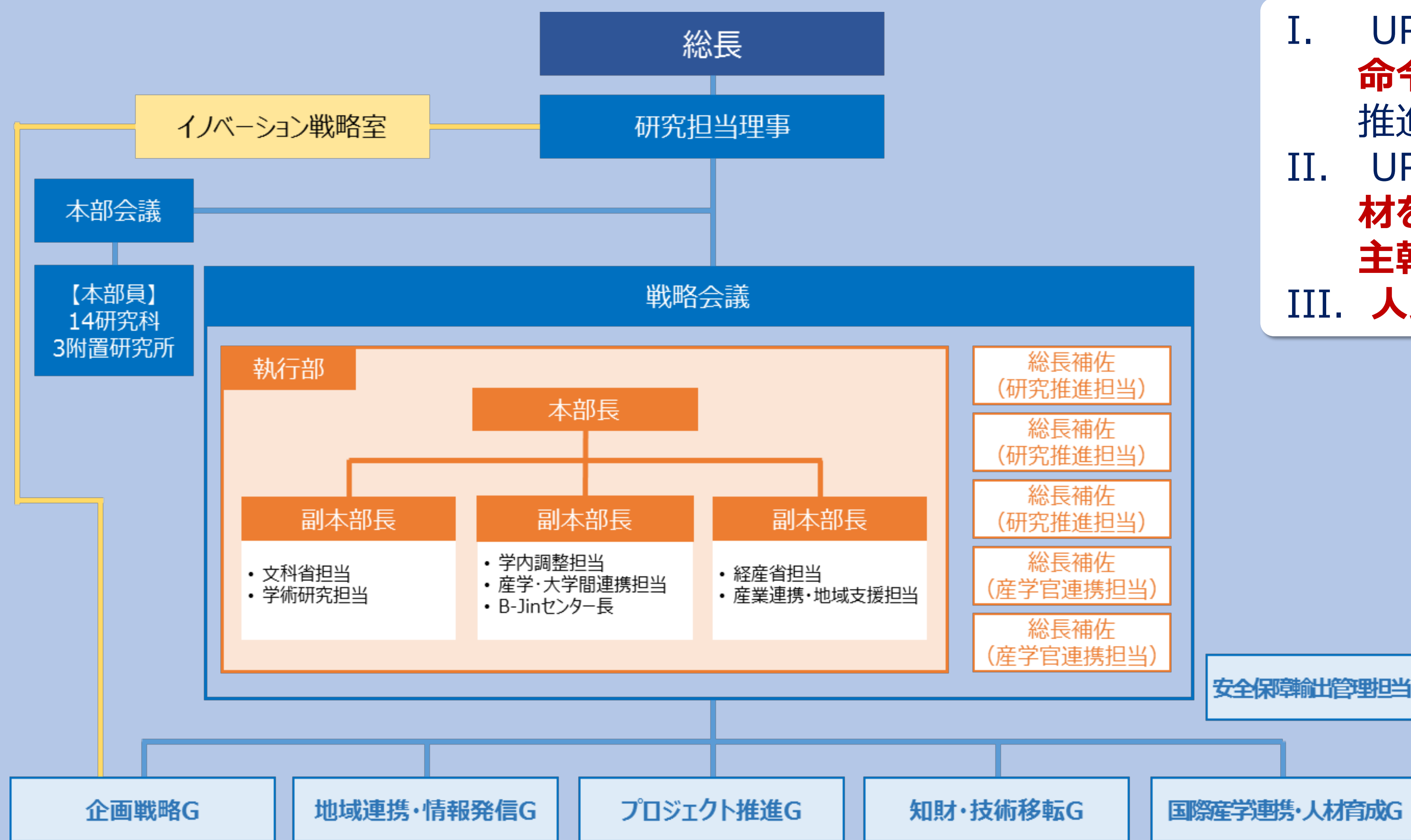


新体制でより強固な研究支援の実現へ 名古屋大学

NAGOYA UNIVERSITY

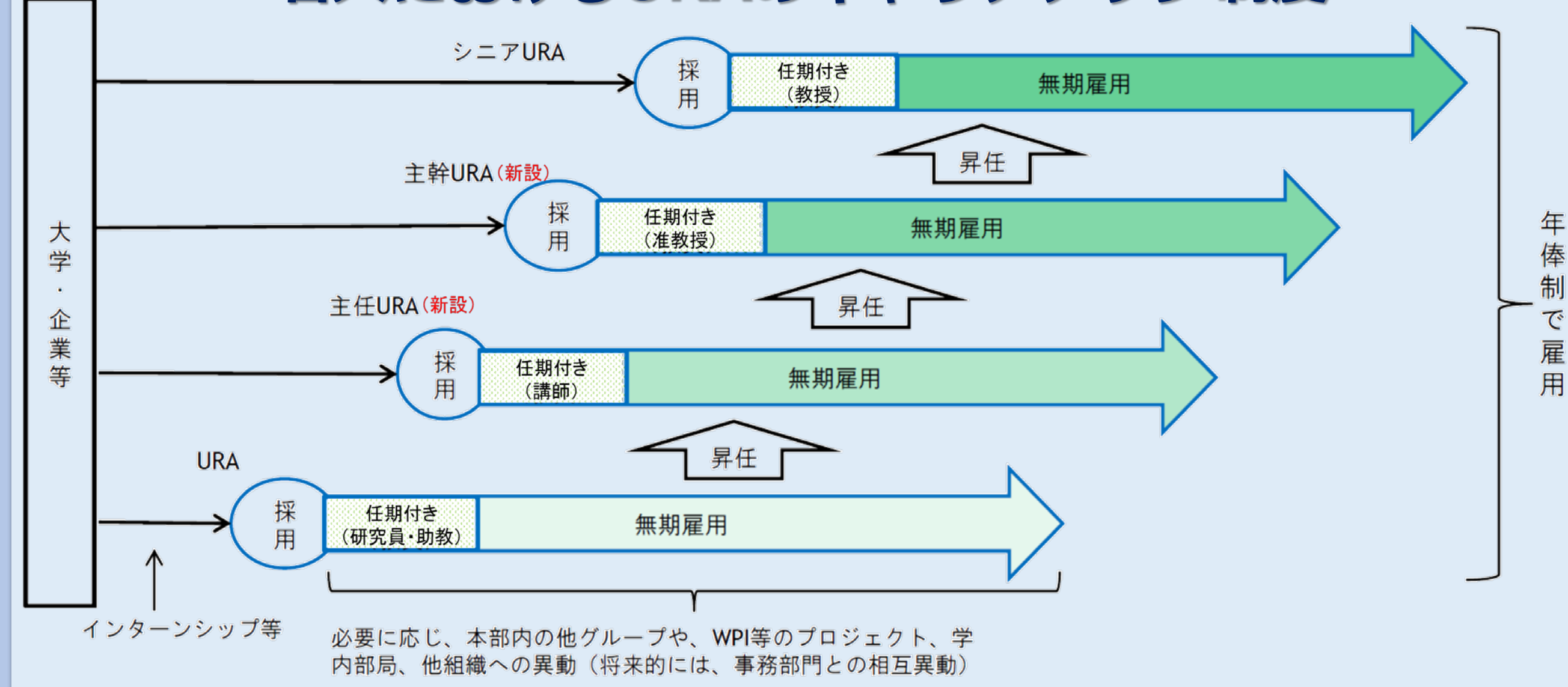
名古屋大学は、より強固な研究支援を実現するため、URA室、産学官連携推進本部、研究推進室を統合し、平成26年1月1日に学術研究・産学官連携推進本部を発足させ、産学連携CDや知財マネジャー等、研究支援人材を全てURAと位置付けた。現在、約40名のURAが、企画戦略、地域連携・情報発信、プロジェクト推進、知財・技術移転、国際産学連携・人材育成の5グループおよび安全保障輸出管理担当に所属している。当本部と各グループの役割や、活動状況、URAのキャリア制度の構築状況を紹介する。

<新体制> 学術研究・産学官連携推進本部 (H26.1.1より)



- I. URA室、産学官連携推進本部、研究推進室を統合し、**同一の指揮命令系統の下、一貫通貫の支援**を実現する「学術研究・産学官連携推進本部」を新設。
- II. URA、産連CD、知財マネジャーなど、**新本部に所属の全ての支援人材を「URA」に統一し、評価、処遇、キャリアパスなどを一元化**。新たに、**主幹・主任URAを新設**。
- III. **人員の増強**を図り、支援体制をさらに強化。

名大におけるURAのキャリアアップ制度



企画戦略グループ (5名)

- イノベーション戦略室の活動の支援
- 国等の政策動向等の情報収集
- 研究支援DBの構築と学内研究の現状調査・分析
- 拠点型研究プロジェクトの形成への支援

地域連携・情報発信グループ (6名)

- 技術相談・中小企業支援
- 学内研究者アウトリーチ活動支援
- 外部機関との連携によるイベント実施
- 学内研究成果の英語による発信「NU-Research」

プロジェクト推進グループ (9名)

- 理系・文系研究者および外国人研究者支援
- 研究費獲得支援 (Pre-award)
- 大型プロジェクト獲得後支援 (Post-award)
- 名大研究シーズ集改訂版編集

国際産学連携・人材育成グループ (4名)

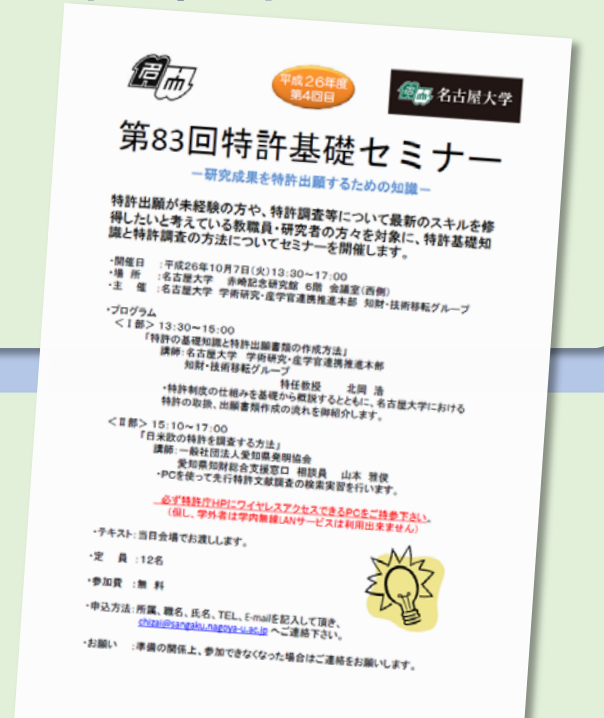
- URAスキルアップ研修の実施とネットワーク構築
- イノベーション人材育成
- 博士 (後期課程)・PDの就職支援
- 国際産学連携

知財・技術移転グループ (12名)

- 特許などの知的財産の創出支援・出願・権利取得
- 知的財産権のライセンス・譲渡などの技術移転
- 大学発ベンチャー創出支援
- 共同研究契約書のレビュー
- 知財関連研修

安全保障輸出管理担当 (2名)

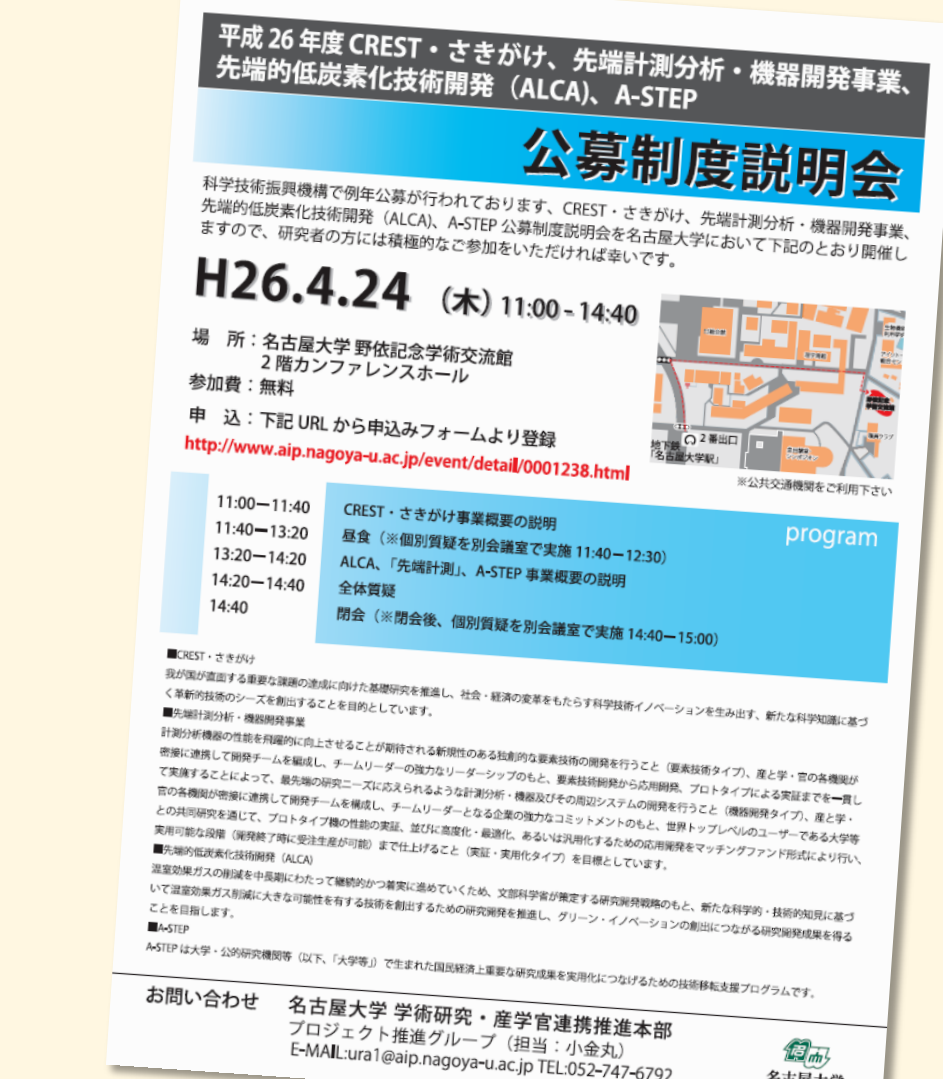
- 安全保障輸出管理
- 利益相反マネジメント



<活動状況1> 研究費公募支援

■ 公募説明会開催

東海地域の研究者・URAを対象に、CREST、さきがけ等の大型予算から、A-STEPや科研費についての公募説明会を実施。(今年度すでに6回)



■ 申請支援

大型プロジェクトから、科研費、A-STEPなどまで、広く申請支援を実施。

文科省系

CREST、さきがけ、先端計測分析・機器開発事業、先端的低炭素化技術開発(ALCA)、科研費、A-STEP など

内閣府系

戦略的イノベーション創造プログラム(SIP) など

経産省系

産学連携評価モデル・拠点モデル実証事業、エネルギー・環境新技術先端プログラム (NEDO) など

農水省系

革新的技術創造促進事業(異分野融合共同研究) など

厚生労働省系

厚生労働科学研究費補助金 など

総務省系

戦略的情報通信研究開発推進事業(SCOPE)、I-Challenge、異能vation など

<活動状況2> URAスキルアップ研修

名大のURAのみならず、他大学・機関のURAや、事務系職員も参加

■ URA研修 (1回/月)

URAに必要な基礎知識の修得を目的とした学内外の講師による研修会。科学技術政策から産学連携、知財、研究倫理、アウトリーチまで幅広く、また、基礎から応用まで研修する。

<例>

第3回「欧米の大学における新たな研究マネジメント専門職」(7/3)
講師：早稲田大学 丸山浩平 氏



■ ファシリテーションスキルアップ研修 (2回)

URAを対象に、対話型ワークショップ、デザイン思考ワークショップについてのファシリテーションスキルを研修。

第1回「ワークショップファシリテーション」(7月27日)
第2回「デザイン思考～共感をデザインする～」(8月31日)
講師：(株)イトーキ オフィス総合研究所 谷口政秀 所長



<活動状況3> アウトリーチ・情報発信

■ 学内研究者アウトリーチ活動支援

名大カフェ (1回/月)
名古屋の繁華街「栄」を中心に、友達と、仕事帰りに、気軽に立ち寄り、科学を楽しむことがコンセプト。

<例>
第47回「3Dプリンターによる医療支援革命」(7/23)
話題提供：情報学研究科 森 健策 教授

■ NU-Researchによる情報発信

一流学術雑誌に掲載された論文や、優秀な若手研究者を英文にて紹介。本学の情報発信力を強化し、国際的プレゼンスの向上を図る。



■ 外部機関連携イベント

あいちサイエンスフェスティバル2014 (9/29～11/3)
名古屋スペースキャンプ2014 (7/30)
名大研究室の扉 in 河合塾 (2年12回シリーズ)

今後の展開

名古屋大学では、**NIC (National Innovation Complex、右図)** に研究支援人材を集結させ、**産学官連携の一大拠点**を形成する。NICは、学術研究・産学官連携推進本部と名古屋COI拠点のURAおよび事務方が、「**アンダーワンループ**」のもと、大学と企業・地域をつなぐネットワークの構築や、産学連携によるグローバル化などを推進する、**本学のイノベーション創出拠点**となる。



平成27年3月竣工予定